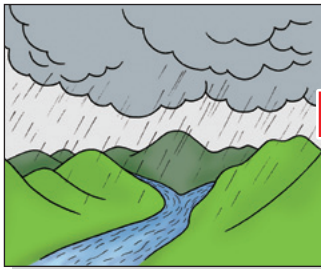


# 風水害について

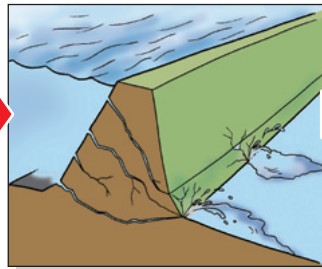


## 水害(はん濫)発生のおこし

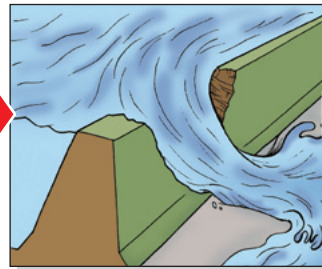
### 外水はん濫のおこし



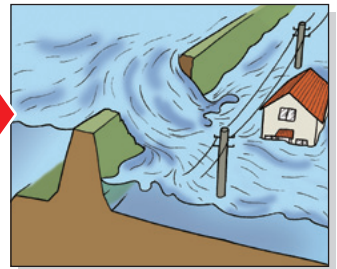
大雨によって川の水が増え、水かさが増え始める。



堤防いっぱいまで水が増えると、堤防に水の圧力がかかります。



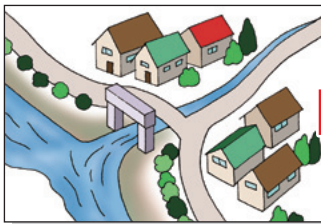
水が増え、水の力に堤防が耐えられなくなり、堤防の一部が崩れ始めます。



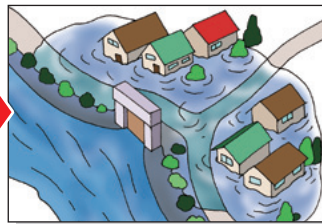
崩れた場所を通り、勢いよく水が流れ出し、家などに襲いかかります。

### 内水はん濫のおこし

#### 内水はん濫のおこし

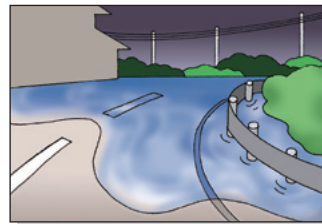


街などに降った雨は、排水路などを通して川に排水されます。

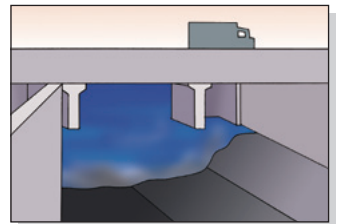


大雨が降ると川の水位が上がると、排水路などがあふれてしまいます。

#### 内水はん濫の特徴



大雨が降ると、排水されずに雨水が道路などにあふれてしまいます。



道路や鉄道の高架下など、道路が低くなっている所に、雨がたまって冠水します。

## 雨の降り方と降雨量

### やや強い雨

1時間に10~20mm未満の雨



地面一面に水たまりができ、話し声が聞き取りにくくなります。長期になりそうなら、警戒が必要です。

### 強い雨

1時間に20~30mm未満の雨



土砂降りの雨。傘をさしていても濡れてしまうほどの雨です。ラジオ・テレビなどで今後の様子に注意し、長引きそうなら避難の心構えを。

### 激しい雨

1時間に30~50mm未満の雨



バケツをひっくり返したような雨です。がけ崩れ、山崩れも起こりやすく、道路規制も行われます。避難の準備を。

### 非常に激しい雨

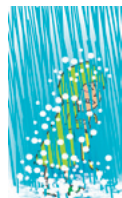
1時間に50~80mm未満の雨



滝のように降り、あたりが水しぶきで白っぽくなります。中小の河川ははん濫し、水害の可能性が高まります。避難勧告などが出る場合があります。

### 猛烈な雨

1時間に80mm以上の雨



息苦しくなるような圧迫感があり、恐怖を感じます。雨による大規模な災害が発生するおそれが高く、厳重な警戒が必要です。

## 風の強さと状況

### やや強い風

風速10~15m/秒 未満



風に向かって歩きにくくなる。傘がさせない。

### 強い風

風速15~20m/秒 未満



風に向かって歩けない。小枝が折れる。

### 非常に強い風(暴風)

風速20~25m/秒 未満



しっかりと身体を確保しないと転倒する。シャッターが壊れる。

### 非常に強い風(暴風)

風速25~30m/秒 未満



立ってられない。ブロック塀が壊れる。樹木が根こそぎ倒れる。

### 猛烈な風

風速30m/秒 以上



屋根が飛ばされたり、木造住宅が壊れる。

## 風水害時に対する日ごろからの備え

### 大

雨や台風に向けて、家のまわりを点検・整備しましょう。



家のまわりに吹き飛ばされそうなものはないか、雨戸や雨どいなどは傷んでいないか、家の前の排水溝がつまっていないかなどを確認しましょう。



### 避

難所や避難路を確認しましょう。



地図などで、自分の地区の避難所はどこなのか、そこへ行くための避難路を確認しておきましょう。



### 非

常食や持ち出すものなどを準備しましょう。



非常食には、調理の手間がかからず、水をあまり使用しないもの(レトルト食品や缶詰など)を選びましょう。また、懐中電灯やラジオ、乾電池も忘れずに用意しましょう。



### 一

一人暮らしのお年寄りなどには気配りを。



自分の家族や住みだけでなく、地域全体にも目を向けましょう。特に、一人暮らしのお年寄りや病気の人たちには、ふだんから気配りが必要です。



**気** 象情報に注意



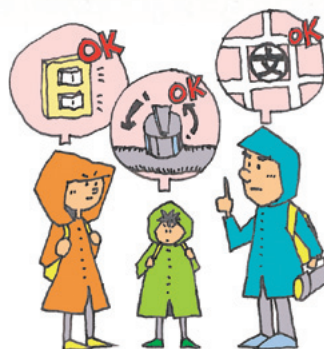
ラジオ、テレビ、インターネットなどで最新の気象情報を確認しましょう。



**避** 難する前に確認



避難する前に、電気、ガス、などの火元を止め、避難所をもう一度確認しましょう。



**高** い道路を通りましょう



避難にはできるだけ高い道路を選び、浸水箇所がある場合は、溝や水路に十分注意しましょう。



**万** が一、逃げ遅れたときは



万が一、避難が遅れて危険が迫ったときは、近くの丈夫な建物の高い場所に逃げましょう。



**車** での避難は控えて



車での避難は、交通渋滞をまねき、浸水すると動けなくなり、緊急車両の妨げとなります。特別な場合を除き徒歩で避難しましょう。



**車** を放置しない



水防活動の妨げになりますので、車を道路や堤防に放置しないようにしましょう。

